



知事を囲んでの意見交換会 発言組合



◆「県産材の使用長期優良住宅」の開発

協同組合山形木造住宅プレカットシステム
理事長 安部 政 昭氏

県産材の利用拡大と木材住宅活性化を目的に、素材生産者、製材業者、木材市場が集まり協同組合を設立した。住宅産業の変化に対応するため、人材育成・社内教育の徹底した結果、各種資格の取得や建築士事務所として登録した。木造建築業界は、県産材利用推進のための住宅ローンの利子補給等により、かつてない「追い風」となっている反面、大工職の後継者不足や住宅着工数の大きな減少によ

り製材工場の縮小廃業が目立っている。公共事業に木材使用はありがたいが、県外業者が行うことが多いので、更なる県産材の利用拡大並びに大工職及び製材工場に対する支援をお願いしたいと発言した。



◆10年・20年先を見越した商店街づくり

鶴岡山王商店街振興組合
理事 阿部 等氏

商店街は、大資本企業の郊外へ出店攻勢や車社会の影響により、個店の売り上げは厳しい状況である。昭和40年代には、従業員を雇っていた所も現在はほぼ家族経営になっている。平成6年より「山王ナイトバザール」を開催、商店街の賑わいづくり活動に取り組んだ結果、中小企業庁が発刊した「新・がんばる商店街77選」に選ばれた。今後は、商店街ばかりではなく地域を巻き込んだまちづくりための

担い手の育成支援をお願いしたいと発言した。



◆ひとの“想い”をつなげるために企業組合を設立

企業組合リンクシップ
理事長 渡 邊 靖氏

東日本大震災以降、価値観が変化しており、売上や業績だけでなく、企業として何ができるか、地域社会にどうしたら役立つかを考える企業が増えてきた。クライアントの意志と想いを、次世代に伝えていくという「広報」の重要性が増していると思い企業組合を設立した。

組織を設立する上で、ネックとなった資金面の助成、広報活動や情報化の支援をお願いしたいと発言した。

発表後、吉村知事が、それぞれの発言について所感を述べた。